



体協だより

(第32号)

発行／(一社)小平市スポーツ協会
 発行責任者／荒武宗昭(編集/広報部会)
 連絡先／042-349-1350(スポーツ協会事務局)
 ホームページ/<https://kodaira-sa.org/>



令和6年4月1日から「小平市体育協会」は、「小平市スポーツ協会」に名称を変更しました

小平市体育協会は、今年4月1日に長年使ってきた「小平市体育協会」を「小平市スポーツ協会」に名称変更いたしました。なお、この「体協だより」は、従来の「体協だより」のままの発行としました。

当協会は、昭和33年度にわずか5団体で設立をし、現在の団体数は33団体にまで増え、今年で66年目を迎えます。

平成22年に「一般社団法人」を設立し、平成24年に市から大きなスポーツ事業を数多く受託しました。平成27年から今日までの9年間、指定管理者として、小平市民総合体育館の管理・運営を行いながら、小平市のスポーツ振興の重要な一翼を担い活動を続けて参りました。

国においても、今年の佐賀県開催の「国民体育大会」から、名称を「国民スポーツ大会」に変更して行くことが決まっています。「国体」から「国スポ」へと時代が移り変わって行くこととなります。

また、「日本体育協会」は、昭和39年の東京オリンピック以降、スポーツと言う概念が広く人々や社会に浸透し、発展してきたことにより、平成30年に「日本スポーツ協会」に改名しています。

「東京都体育協会」「東京都市町村体育協会連合会」もまた、本年4月よりそれぞれスポーツ協会への改名を表明しております。

小平市体育協会におきましても、「第二次小平市のスポーツ振興の基本方針」において、現在は、

- ・スポーツを「する」だけでなく、
- ・スポーツを観戦するなどの「みる」、
- ・さらにスポーツに取り組む人を応援したり、スポーツ環境の整備をするなどの「ささえる」

など、スポーツの考え方を幅広く捉えています。

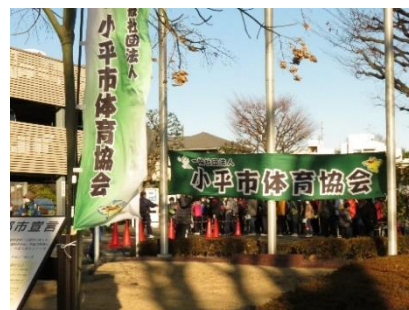
以上のようなことから、「小平市体育協会」も、これからは、皆様と共に長い歴史や伝統をしっかりと継承しつつ、新しい「小平市スポーツ協会」へと舵を切って行きたいと考えています。

小平市スポーツ協会は、「地域に根差したスポーツ活動団体」として、高く評価された、「第一次小平市のスポーツ振興の基本方針」の内容に恥じることはないよう活動を続けて参りたいと思います。

終わりに、体育協会関係者の皆様には、これからも「小平市スポーツ協会」に対し、今まで以上のご指導・ご協力を頂きますよう心からお願いを申し上げます。

第44回新春歩け歩けのつどい

1月7日(日)に開催されました「第44回新春歩け歩けのつどい」は天候に恵まれたものの、冷たい風



が吹き抜ける寒い日になりました。

総勢419名の参加者があり「お土産の温かい甘酒を楽しみに歩きました」との声も聞かれ、

事故もなく大成功の“つどい”となりました。

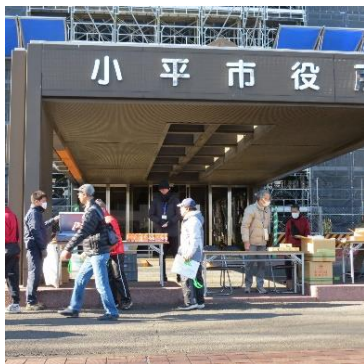
今年の“つどい”は恒例のセレモニーも実施され、小林市長をはじめ、国会議員、都議会議員、市議会議員、来賓の方々が数多く参加され、ご挨拶を頂いた後、準備体操をして元気にスタートしました。

今回は東回りのコースで、市役所→青梅街道→狭山・境緑道→こ線橋→青梅街道→ふるさと村→狭山・境緑道→



あかしあ通り→青梅街道→市役所の順で約8kmを歩

いてもらいました。参加者は、友達やご家族との会話を楽しみながら歩き、ゴールの市役所まで、怪我もなく完歩し、干支のバッチやお土産をもらっての解散となりました。



なお、今年の歩け歩け事業の表彰者は50回が1名、30回が1名、20回が3名、10回が7名でした。

令和6年 新年賀詞交歓会

4年ぶりに開催された令和6年一般社団法人小平市体育協会「賀詞交歓会」は、1月12日（金）に前回までの開催会場である、ルネ小平がコロナ禍の影響で収容



人数制限の為立川市の「ホテルエミシア東京立川」での開催となりました。

荒武会長の開会の挨拶に始まり、小林市長を始めとする来賓方の祝辞、そして加藤体育協会顧問の乾杯のご発声で懇談に入りました。

加盟33団体が参加し、参加者数は来賓、役員含め総勢81名を超え、懇親を広げ、深めることができました。

また、ビンゴゲームも行われ大盛況のうち終会することができました。



また、ビンゴゲームも行われ大盛況のうち終会することができました。

第44回こだいら市民駅伝大会

2月4日（日）に開催されました、第44回目となる、今年の市民駅伝大会は、小雨降る気温11度前後となる寒い日になってしまいました。

一般男子；62チーム、一般女子；17チーム、中学生男子；12チーム、中学生女子；6チーム、シニアA；13チーム、シニアB；8チーム、の合計118チームが参加し、それぞれのチームカラーを発揮しながら、1人3.1キロのコースを4人でタスキを繋ぎ走り抜けました。

この駅伝大会は、大きな公道をコースとするため、多くの交通規制が必要となります。



一般道の通行止めや片側通行を始め、西武バス、にじバスなどの路線バスにも運休をお願いし、開催をしています。

また、小平警察署、小平消防署、小平交通安全協会、東京経済大学陸上競技部、など数多くの機関にもご



協力を頂き、ランナーの安全を最優先に考え、沿道の応援者の皆さんにも事故の無いよう最大

限の注意を払って開催をしました。

今年の大会では、シニアAの部の優勝チームが大会新記録を、また、区間新記録では、一般女子の部の2区、シニアBの部の1区で新記録が出ました。

コロナ感染症の影響で、参加者が完全には戻って来ていませんが、次回は、もっと多くのチームが出場してくれると思います。

駅伝大会の開催時間帯にご迷惑をおかけしました、コース近くにお住いの皆様にお詫びを申し上げるとともに、心から御礼申し上げます。



シニア初・中級者親睦ダブルス大会
Ping-Pong Challenge

令和6年2月17日(土)

この大会は、体育協会が卓球を始めたばかりで、
大きな大会には、まだ出られない選手たちの
ために企画したものです。
今は、体育協会と卓球連盟が共催で開催しています。

大会成績

◎初級者リーグ 予選Aブロック

- 1位 清水幸子・松尾達子
- 2位 後藤博史・田村辰子

○決勝トーナメント(各ブロック1位対2位)

- 1位 清水幸子・松尾達子

初級者リーグ 予選Bブロック

- 1位 大石和幸・黒田美恵子
- 2位 毛利一郎・菅原玲子

- 2位 後藤博史・田村辰子

◎中級者(6チーム総当たり戦)

- 1位 中田 寛・中田真由美

- 2位 阿部美智代・横田律子



試合の終わった後には、
小平市在住のpara卓球
佐藤泰巳選手のワンポイント
講習会が開催されました。
佐藤選手は、今年のパラリン
ピックの有力候補選手です。



佐藤選手の戦績

- 1. 2023年 第15回全日本para卓球選手権大会
- 2. 2022年 第14回全日本para卓球選手権大会
- 3. 2019年 メキシコ大会団体戦
- 4. 2018年 第10回国際クラス別選手権大会シングルス
- 5. 2017年 台湾大会シングルス

- 優勝
- 準優勝
- 準優勝
- 優勝
- 第3位



大 会 成 績

小平柔道会（沖永荘一杯東京都少年少女学年別柔道選手権大会）

2月18日（日） 於 東京武道館

小平柔道会からは、小学4年生～6年生の男女5名が参加、内4名が入賞という好成績をおさめた。

競技部門	選手名	結果
小学4年生女子軽量の部	伏見梨花	3位
小学5年生女子重量の部	古市瑠唯	敢闘賞
	厚治詞葉	敢闘賞
小学6年生女子軽量の部	市村奈々	敢闘賞

本大会は、東京都強化選手選考も兼ねており、伏見梨花さんは東京都強化選手となった



小平市武術太極拳連盟（2023年度第21回南関東ジュニア武術太極拳大会）

選手名	競技部門		総合順位
栗山 蒼生	長拳・第三套路 4位	剣術・第三套路 1位	総合 2位
栗山 瑛音	南拳・第三套路 1位	南刀・第三套路 1位	総合 1位
常見 采芭	長拳・第三套路 6位	剣術・第三套路 6位	総合 6位
常見 咲芭	長拳B套路 5位	剣術B套路 5位	総合 5位

栗山蒼生・瑛音さんと常見咲芭さんの3名は、
第32回JOCジュニアオリンピックカップ
武術太極拳大会の出場選手に選抜されました。



小平市バレーボール連盟

（2023年度レディース9人制冬季大会）

Aコート 優勝	すぎの木クラブ
Bコート 優勝	ラッキークラブ

編集後記

「小平市体育協会」から「小平市スポーツ協会」へ名称は変わりましたが、今回は従来のまま「体協だより」として発行しました。

体協だよりは、広報部員の取材や原稿をもとに作成しています。

これからも、「スポーツ協会」の広報誌として皆様方に情報提供を続けて参ります。